

| | |
|-------------------------------------|---|
| 事業所名 | グループホームアルテピア (クリックすると事業者の情報にリンクします) |
| 日付 | 平成19年 1月11日 |
| 評価機関名 | ㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします) |
| 評価調査員 | A:現職 生活指導員 資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、Ⅱ-A・Ⅱ-B-2級、介護支援専門員 B:現職 看護師 資格・経験 看護師、介護支援専門員 |
| 自主評価結果を見る | (事業者の自主評価結果にリンクします) |
| 評価項目の内容を見る | (評価項目にリンクします) |
| 事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります！) | (事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします) |

外部評価の結果

| |
|---|
| 講評 |
| 全体を通して特に良いと思われる点など(記述) |
| 岡山市の東、瀬戸町の田園地帯にあり、居室からは丘陵地のもみじが眺められる。JR瀬戸駅に近く、幹線道路も直ぐ側を走り、バス停やスーパー、公共施設も近くにある。 |
| 介護施設が同じ敷地内に複合的に設置されており、入居者にとって、利便性の良いホームである。 |
| 医療機関とは、常時、緊密に連絡が取れており、緊急時には夜間でも直ちに対応してもらえる。また、併設の介護老人保健施設より、看護師長の訪問・指導がある。平常の健康維持等に関しては専門的に配慮しており、入居者は安心してホーム生活を送ることが出来る。 |
| 入居者・職員は、マイタオルや手洗い・うがいを励行している。個人衛生管理点検表によるチェックも徹底しており、インフルエンザ等に罹っている職員・入居者は一人もいない。 |
| 「ゆっくり・いっしょに・たのしく」をホーム生活のテーマとし、毎月「綺麗になる日」とか「たこ焼きの日」など色々な日を設定してホーム生活にメリハリと楽しさが感じられるようにし、入居者の身体機能・精神機能の低下防止に努めている。 |
| 職員それぞれが、「ふれあい係り」など現場に即した担当の係り活動を行っており、それらを通じてホーム生活の活性化と介護技術の向上に努めている。 |
| 特に改善の余地があると思われる点(記述) |
| 特に無し |

I 運営理念

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|-------------|---|-------|-----|
| 1 | 理念の具体化、実現及び共有 | | |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か(記述) | | |
| | <p>「ゆっくり・いっしょに・たのしく」をモットーに、入居者と家族の意見に真摯に耳を傾け、良きパートナーとなり、入居者が一日でも多く笑顔を見せ、一日でも長生きをしてもらえる事を目指している。</p> <p>家族の一員として、「出来ること」を共に見つけ出し、役割を持って互いに助け合うことを目標に置き、「やりたい事」が出来る環境作りに励んでいる。</p> <p>入居者との絆を深め、信頼感を生み出して入居者の心の安定を図り、日々ケアのレベルアップに向けて努力している。</p> <p>平均年齢89歳と後期高齢者が多く、入居者の健康維持を全体目標として位置付け、手洗いの習慣化・食品加熱・消毒等を徹底し、食事中・一般業務用とエプロンを替える等、衛生第一に努めている。</p> | | |

II 生活空間づくり

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|-------------|---|-------|-----|
| 2 | 家庭的な共用空間作り | | |
| 3 | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり | | |
| 4 | 建物の外回りや空間の活用 | | |
| 5 | 場所間違い等の防止策 | | |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) | | |
| | <p>入居者のこれまでの生活スタイルを尊重し、入居者自信の意志を中心に、自分のペースで落ち着いた生活をしてもらえるように取り組んでいる。</p> <p>入居者の居場所を確保し、個人個人が自由にプライバシーを守れ、ほっと安らぐ場所作りに努めている。</p> <p>職員全員、入居者の食中毒予防や転倒防止に留意している。椅子の肘掛け・背もたれ等の箇所に柔らかいクッション的なものを巻き付け、立ち居振る舞いに於いても安全に留意し、入居者が安心して過ごせるように配慮している。</p> <p>教務優先で仕事をするのではなく、入居者それぞれの担当者を決め、入居者との関わり・コミュニケーションを大切にできるように取り組んでいる。</p> <p>常に声を掛けて側に寄り添い、入居者の心を落ち着かせ、家族の一員として楽しみを分かち合うように努めている。</p> | | |

III ケアサービス

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6 | 介護計画への入居者・家族の意見の反映 | | |
| 7 | 個別の記録 | | |
| 8 | 確実な申し送り・情報伝達 | | |
| 9 | チームケアのための会議 | | |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重 | | |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ | | |
| 12 | 入居者のペースの尊重 | | |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援 | | |
| 14 | 一人で行えることへの配慮 | | |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 | | |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援 | | |

III ケアサービス(つづき)

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|-------------|--|-------|-----|
| 17 | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援 | | |
| 18 | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮 | | |
| 19 | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせて入浴支援 | | |
| 20 | プライドを大切にされた整容の支援 | | |
| 21 | 安眠の支援 | | |
| 22 | 金銭管理と買い物物の支援 | | |
| 23 | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関・入院受け入れ医療機関の確保 | | |
| 24 | 身体機能の維持 | | |
| 25 | トラブルへの対応 | | |
| 26 | 口腔内の清潔保持 | | |
| 27 | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応 | | |
| 28 | 服薬の支援 | | |
| 29 | ホームに閉じこもらない生活の支援 | | |
| 30 | 家族の訪問支援 | | |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) | | |
| | <p>入居者の生活歴を把握し、経験や能力を尊重している。日常生活の流れの中で、自然に陶芸・紙細工等趣味活動へ誘い、やる気を引き出すようにしている。</p> <p>居室には必ずロックをして許可を得てから入り、入居者への尊敬と献身をさりげない動作の中で表現するように努めている。</p> <p>入居者の個人記録等の個人情報は事務室に保管しており、確実に安全に管理されるように励行している。</p> | | |

IV 運営体制

| 番号 | 項目 | できている | 要改善 |
|-------------|--|-------|-----|
| 31 | 責任者の協働と職員の意見の反映 | | |
| 32 | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ | | |
| 33 | 家族への日常の様子に関する情報提供 | | |
| 34 | 地域との連携と交流促進 | | |
| 35 | ホーム機能の地域への還元 | | |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) | | |
| | <p>管理者・職員は、常に介護サービスの質向上に取り組み、内部・外部研修等を通じ、認知症についての研鑽を重ねている。</p> <p>入居者のホーム内外における緊急事態を想定し、職員は慌てず居場所を明確にする等、具体的な「急変時対応マニュアル」を作っており、系統だって確実かつ迅速な対応が出来るように職員全員が徹底し、努力している。</p> <p>食中毒予防や転倒防止など、衛生管理・事故防止は全体目標として特段に留意し、安全・安心のホーム生活の確立を目指して努力している。</p> <p>事故報告書には些細なニアミス・ヒヤリハット等も記録され、その都度相談している。また、全体会議でも取り上げて原因・対応策を検討し、その内容を記録して全員が共有し、再発防止に向けて取り組んでいる。</p> | | |